

令和 5 年度補正予算案の状況

(令和 5 年運営評議会資料)

令和5年度補正予算案の状況（1/2）

令和5年度補正予算案が令和5年11月10日に閣議決定。
機構に関する事項（合計37.5億円）は以下のとおり。

○円滑な奨学金事務のための奨学金業務システム改修：24億円（奨学金業務システム開発費補助金）

- ・ 令和6年度からの奨学金制度改正を円滑に実施し、高等教育費の負担軽減に係る事務に遅れや混乱を生じさせることのないよう、所要のシステム改修を実施する。
 - 授業料後払い制度の申請手続におけるマイナンバーのウェブ提出機能の整備
 - デジタル庁におけるマイナンバー情報提供ネットワークシステムの更改に伴う機構側システムの改修
 - 申請者の利便性向上等に係る奨学金業務システムの改修
 - ✓ 給付型奨学金と授業料減免を同時に電子申請可能とする改修
 - ✓ 適格認定や在籍報告の処置通知のウェブ閲覧を可能とする改修、等

○日本学生支援機構市谷事務所改修工事の着実な実施：11億円（独立行政法人日本学生支援機構施設整備費補助金）

- ・ 災害時等における機能停止等の懸念や事務所のセキュリティに係る懸念の解消に要する改修を着実に実施する。
 - 給排水設備や消火設備等の刷新、非常用発電機の整備等による、非常時の事務所機能の維持
 - 電子的施錠扉、入退室管理システム等の整備によるセキュリティ強化

令和5年度補正予算案の状況（2/2）

○東京国際交流館の留学生・研究者宿舎における屋上防水機能の改修等：2億円

（政府開発援助独立行政法人日本学生支援機構施設整備費補助金）

- ・ 国際交流施設の屋上防水機能・外壁等に対し必要な改修を施し不測の事態の発生を未然に防ぐとともに、今後の当該施設の保守・管理に係るコストの抑制を期する。
 - 東京国際交流館 屋上防水機能及び外壁の改修
 - 兵庫国際交流会館 直流電源装置の更新

○日本留学情報発信機能の充実：0.5億円（留学生交流支援事業費補助金）

- ・ 日本留学希望者及び保護者、進路指導等を行う教育関係者に対し、日本留学に関する最新の情報を発信するウェブサイトを構築し、留学生受入れの促進を図る。
 - 新規コンテンツの制作 等

円滑な奨学金事務のための奨学金業務システム改修

令和5年度補正予算額(案) 24億円

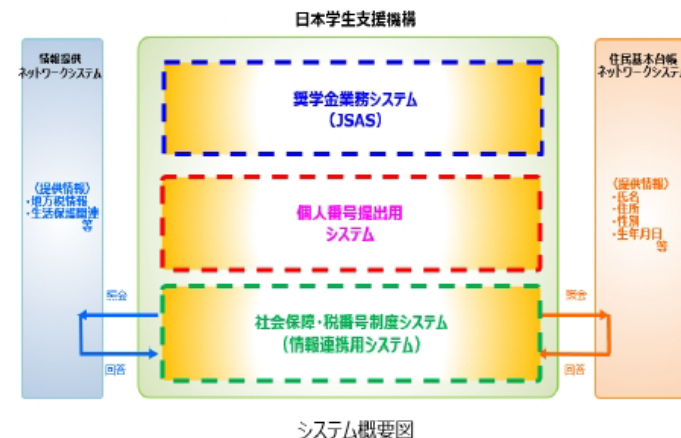
現状・課題

令和6年度からの奨学金制度改正を踏まえ、学生への経済的支援を着実に実施するため、(独)日本学生支援機構の奨学金業務システムの改修を行い、円滑な事務の実施に係るシステム上の対応や、デジタル技術の活用による奨学金利用者の利便性の向上を進める必要。

事業内容

令和6年度からの奨学金制度改正を円滑に実施し、高等教育費の負担軽減に係る事務に遅れや混乱を生じさせることのないよう、デジタル庁のシステム更改等に伴い必要となるマイナンバー処理に係るシステム改修や、奨学金制度改正後の事務に係る利便性向上や事務負担軽減のためのシステム改修を実施する。

【マイナンバー処理に係る機構のシステムの改修】



- ✓ 授業料後払い制度の申請手続におけるマイナンバーのウェブ提出機能の整備
- ✓ デジタル庁のマイナンバー情報提供ネットワークシステムの更改に伴う機構側システムの改修
- ✓ 申請者の利便性向上等に係る奨学金業務システムの改修（給付型奨学金と授業料減免を同時に電子申請可能とする改修、適格認定や在籍報告の処置通知のウェブ閲覧を可能とする改修、等）

効果

- ・奨学金制度改正への対応の遅れや混乱の防止、円滑な奨学金事務の実施
- ・デジタル技術の活用による学生等利用者の利便性向上、業務の効率化

現状・課題

竣工から60年近くが経過し老朽化及び狭隘化が著しい市ヶ谷事務所について、耐震性能の改善や狭隘化の解消のための改修・増築工事を進めている。

しかし、多数の江戸期の遺物発見に伴う埋蔵文化財調査の長期化により、作業早期化のための工法の見直しや管理費の増加等により改修内容の一部見直しが余儀なくされているところ。

【市谷事務所の外観(改修前)】



事業内容

既存建屋の改修内容の一部見直しにより、既存建屋の内装部分の改修が十分に実施できない場合、災害時等における機能停止等の懸念や、事務所のセキュリティ上の懸念が解消されないため、必要な改修を着実に実施する。

【市谷事務所の現在の内装設備】



- ✓ 給排水設備や消火設備等の刷新、非常用発電機の整備等による、非常時の事務所機能の維持
- ✓ 電子的施錠扉、入退室管理システム等の整備によるセキュリティ強化

効果

- ・施設の防災機能強化等による、非常時も維持可能な執務環境の確保
- ・堅実なセキュリティの確保による、奨学生の個人情報等の漏洩の防止

現状・課題

- 東京国際交流館は、災害発生時に帰宅困難者等への施設提供、近隣への備蓄品等提供等、災害時応援協定に基づき社会的混乱を最小限に防止するための役割を果たす必要があるものの、竣工後20年以上が経過しており、屋上漏水の発生など機能劣化が深刻。
- 兵庫国際交流会館も、竣工後24年が経過するが、以来既設の直流電源装置の更新を行っていない。製造メーカーにおいて生産を終了する部品が多くなり、不具合が発生した場合の修理や部品の交換による維持管理が困難な状況。

事業内容

- 東京国際交流館は、附属設備が法定耐用年数超過の状況にあり、機能劣化が深刻化している。居住者の安心・安全の確保に加え、近隣の施設及び消防署との災害時相互応援に関する協定に基づく役割を着実に果たすため、宿舎屋上の防水機能や外壁部分の劣化に対し必要な整備を実施する。
- 兵庫国際交流会館は、停電時の非常照明の点灯、消防用設備の稼働、自家発電機の始動等に使用される直流電源装置が、耐用年数を大幅に超過していることから必要な整備を実施する。

東京国際交流館 屋上防水の改修

東京国際交流館留学生・研究者宿舎における屋上防水機能は、エキスパンションジョイントの硬化をはじめ大規模漏水の要因となる劣化が随所で露見している。劣化した部品については撤去・処分するとともに、屋上部分の高圧洗浄及び下地処理を行い、ウレタン塗膜防水工法による防水処理を施す。

東京国際交流館 外壁の改修

東京国際交流館は、東京湾に接した特異な立地条件により、多量の紫外線や塩分を含んだ風雨に日常的に晒されており、一般的な立地条件の建物よりも過酷な環境下にあることから、建物外壁の老朽化、劣化が著しく進行している。C棟・D棟の外廊下及び外階段に設置されている手摺の基礎部分のコンクリートに関しては、紫外線や風雨に晒されて中性化が進行し、内部の鉄筋が腐食、膨張することではく離が随所に生じており、一部が階下に落下するという事態も発生している。外壁の脆弱部を補強処理し、撥水剤補修を施す外壁工事を行う。

兵庫国際交流会館 直流電源装置の更新

兵庫国際交流会館の直流電源装置を更新し、搬入・据付・調整等を実施する。



アウトプット（活動目標）

国際交流施設の屋上防水機能・外壁等に対し必要な改修を施し、不測の事態の発生を未然に防ぐとともに今後の当該施設の保守・管理に係るコストの抑制を期する。

アウトカム（成果目標）

大規模漏水や外壁はく離・落下による人命・財産に対する被害の発生等を抑止し、居住者及び地域の安全・安心の確保を確実にする。

現状・課題

- （独）日本学生支援機構（JASSO）が運営する「日本留学情報サイト」は、日本留学促進を図るウェブサイトとして、平成31年4月より運用開始。ポストコロナ期においては、オンラインによる情報発信、情報提供の重要性が従来に比べ著しく増していることから、日本留学を希望する閲覧者が求める情報へのアクセシビリティ改善やコンテンツの更なる充実が必要となる。

事業内容

- 日本留学希望者及び保護者、進路指導等を行う教育関係者に対し、日本留学に関する最新の情報を発信するウェブサイトを構築し、留学生受入れの促進を図る。

学校検索システム

各校より収集した学校基本情報、学部等の情報を活用し、外国人学生が希望する学習環境を提供できる大学を絞り込み、効果的に必要な情報を閲覧できるシステムを構築。

奨学金等検索システム

日本に留学する外国人学生に対し、大学、自治体、民間団体等が提供する奨学金や授業料減免制度を検索し、活用に繋がられるシステムを構築。学校・奨学団体関係者用の編集機能を設けて最新情報を常に更新できるよう設計することで、日本留学を検討している外国人学生に対し常に最新の情報が行き渡るよう効果的な発信を図る。

国内就職調査システム

外国人留学生の雇用を検討する企業向けに、各校から収集した外国人留学生の在籍状況をはじめ企業の採用活動に資する情報を提供するシステムを構築。

新規コンテンツ制作

- ・教育研究内容の魅力、卒後のキャリアパスのPR
- ・各地域でのキャンパスライフの魅力等のPR
- ・日本留学経験者のキャリアパスの成功事例等
- ・他国との比較での日本留学のメリットのPR 等

アウトプット（活動目標）

日本留学を検討している外国人学生に対して、適時必要な情報を発信するためのウェブサイト改修等を実施。

アウトカム（成果目標）

留学を検討している外国人学生に対し、日本への留学の後押しとなる適切な情報提供を実施することにより、更なる日本留学促進を図る。